

しかはま自然観察会  『人も 自然も みんなともだち !』No.15	代表責任者 古高 利男 ☎270-1132 我孫子市湖北台2-14-7 ☎090-7275-9890 2018, 3, 10
---	---

第15回活動「梅見物、早春の生き物観察」

梅は、見られたのでしょうか？  
 サンシュユは、黄色い花を咲かせていたのでしょうか・  
 早春の芽吹きは、感じられたのでしょうか？

1, 日 時： 2018年3月10（日）午後2：00～3：00

2, 天 気： 晴れ

3, 交 通：○現地集合

4. 場 所：○都市農業公園

5, 参加者：総数 3人

内訳	1家族	大 人	1
		中学生	
		小学生	
		幼 児	1
		スタッフ	1

6, 活動の様子

いろいろな手違いで、参加者は1家族のみの2人でした。  
 春日さんが公園内を案内し、早春の芽吹きを感じてくれました。

- 梅は、もう終わりでした。  
花びらは散り、おしべが目立っていたようです。
- サンシュユは、黄色い花を満開に咲かせていました。  
まるで黄色いツリーのようでした。  
一つの花は、20～30個の花のかたまりのようです。  
あまりにも美しいので、においもステキかな？と思ってかいでみました。  
が、においはありませんでした。  
秋になると、赤い実をつけるようです。それで、アキサンゴともよばれています。  
江戸時代に、渡来してきました。

## 7. 反省会

午後4時から、山口さんの家に4人が集まり、30年度の活動計画について検討しました。

一番の悩みは、スキーの実施日をいつにするかです。

第三日曜にすると、子どものリフト代が無料なのです。が、学校によっては登校日になっています。

楽しみにしている子どもたちの期待に応えたいと思います。

「第四週では、スタッフが不足するし・・・」と、いろいろ考えました。

その結果、今年度のスキーは、第二週の土・日にすることに決めました。

もう一つの大きな活動は、土呂部のフィールドを増やしたことです。

土呂部は、昨年に初めて参加しました。

藤原とは違う里山です。活動内容も、大変新鮮でした。イタヤカエデの樹液がドバーッと出てくるシーンには、もうビックリしました。その樹液を飲んだり煮詰めたり、またコクワやブルーベリーなどの森の恵みをいただくと、回りの山々がなんとなくあったかく思えてきました。

そんな土呂部の里山へ、7月のテントによるキャンプと2月のイタヤカエデ樹液採取体験へ行ってみよう計画しました。

特に、テントによるキャンプは3年ぶりになります。久しぶりに、テント生活を味わってみたいと思います。

### ○ 自家製が増えてきた？

話し合いが終了し、一息つきました。

そこに登場してきたのが、いろいろな自家製の食品でした。

#### ① どぶろくとワイン

栗原さん。

ドブろくは、何度も挑戦していますが「その都度、出来がちがう」とのことです。ジワッとのだ元を通過していきました。美味！

#### ② ワイン

山口さんの庭で出来た白ブドウです。甘く、さっぱりした味でした。

#### ③ 肉まん

山口さんの奥様の作品。

生地を寝かし、具を詰め、蒸し器で蒸すと、ホカホカの肉まんの出来上がり！出来上がっていく様子を見ていると、味わい深くなりました。

#### ④ コンニャク

古高産地の畑で大きくしたこんにゃく芋を使用。

こんにゃく芋は、藤原の民宿やまびこの女将、林さんからいただいたものです。去年は失敗し、今年は林さんのレシピ通りにやってみて成功！

800グラムのコンニャク芋から20枚ほどのコンニャクができました。

ここでは味噌コンニャクにして食べました。歯触りが強い感じ！？。

\*自分で作ってみると、「なんだ、できるじゃん！」「こうやれば、いいんだ」と全体像がわかり、食品に対する興味がますます湧いてくるようです。